

まちづくり市民ワークショップ しまだ未来カフェ開催報告



- 1 主催 島田市地域生活部協働推進課、地域づくり課
- 2 運営協力 NPOシマシマ
相模女子大学マッチングプロジェクト
- 3 開催目的 これからの島田市のまちづくりについて、多様な社会層、年齢層、まちづくりに関する意識の異なる層の市民が意見交換を行うことで、まちづくりを「自分ごと」として捉え、互いに意識啓発の相乗効果をもたらし、市民のまちづくりに対する意識啓発を図ることを目的とする。
- 4 開催日時 平成30年10月14日（日曜日）13:30～16:30
- 5 開催場所 島田市立金谷公民館 集会室
- 6 対象者 住民基本台帳から無作為で選ばれた高校生から74歳まで（昭和18年4月2日から平成15年4月1日まで生まれ）の市民3000人

- 7 申込者・参加者数 参加申込者数 33人 (申込率 1.10% 33人/3,000人)
 当日参加者数 25人 (参加率 0.83% 25人/3,000人)
 当日の出席率 75.7% (25人/33人)

8 参加者の内訳

(1) 年代・性別

区分	男性	女性	合計	率
10代	1人	1人	2人	8.0%
20代	2人	1人	3人	12.0%
30代	5人	4人	9人	36.0%
40代	1人	3人	4人	16.0%
50代	1人	2人	3人	12.0%
60代	2人	2人	4人	16.0%
70代	0人	0人	0人	0%
合計	12人	13人	25人	100.0%
率	48.0%	52.0%	100%	

(2) 地区別

	参加者	申込者
旧市内・大津地区	11人	12人
六合地区	6人	7人
初倉地区	2人	5人
大長・伊久身地区	0人	0人
金谷地区	6人	8人
川根地区	0人	1人
合計	25人	33人

(3) 運営補助者

相模女子大学マッチングプロジェクト 講師1人、学生4人
 NPOシマシマ 7人 (ファシリテーター、補助ファシリテーター)

9 ワークショップの概要

(1) テーマ「楽しくつくろう。緑茶化された緑のまち」

市民・事業者、市が協働で島田市のブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」を活用した取組を進めるためのアイデアを様々な立場の市民に検討していただくため、今回のテーマに設定した。

(2) ワークショップの進行

開会あいさつ・講師紹介 (13:30~13:40)

島田市緑茶化計画の説明	(13:40～13:50)
グループワーク	(13:50～途中休憩10分間～15:55)
提案発表・講師の講評	(15:55～16:20)
事務局からの連絡	(16:20～16:25)
閉会あいさつ	(16:25～16:30)

(3) 運営体制

参加者を7グループに振り分け、話合いの進行を補助するため相模女子大学マッチングプロジェクト^{※1}の学生が加わった。

グループワークの進行は、NPOシマシマ^{※2}に依頼した。メインファシリテーター2人が進行役を務め、5人の補助ファシリテーターが各グループを回って意見交換をサポートした。

提案発表に対する講評は、相模女子大学エグゼクティブアドバイザー松下啓一氏が担当した。

※1 相模女子大学の学生グループ。相模原市南区役所と協働で地域と学生をマッチングさせる学内イベントを手がけている。

※2 平成29年度に市主催の「楽しい会議による楽しいまちづくり研修」(ファシリテーター養成研修)を受講した市民が立ち上げた市民活動グループ



進行役のメインファシリテーター

(4) グループワークの進行

自分たちならこんな緑茶化をする、島田市緑茶化計画のPRのためにこんな取組をするなど、参加者同士で意見交換をしながら検討を進めた。

(i) 「あなたが考える緑茶化計画」のアイデア書き出し

個人で付箋紙にアイデアを書き出し、1枚ずつ発表しながら模造紙に貼り、グループで意見を共有する作業を行った。

(ii) アイデアの付け足し

他人のアイデアを聞いて思いついたことをグループ内で話し合い、付け足しの意見を付箋紙に書き、模造紙に貼り出した。

(iii) 意見のグループ化

似たようなアイデアをグループ化し、それぞれにタイトルを付けた。

(iv) 提案内容の検討、発表用紙の作成

「私が考える緑茶化計画」というテーマで、自分たちならどんなことをするか3つの提案をまとめ、発表用紙に記入した。



(4) 提案内容

グループ名：お茶好きの集まり会

1. お茶で自己紹介（名刺サイズのお茶パック）
2. 初倉農家発スペシャリスト養成講座（知識向上）
3. インスタ映えで景品ゲット（国内外アピール お茶関連商品）

グループ名：む茶な話かな？チーム

1. みんなが主役になれる町
2. 茶畑アートな町
3. みんなの舌にお茶を浸透させる町



お茶好きの集まり会



む茶な話かな？チーム

グループ名：ムーランルージュ

1. SMD 4 8（60代以上の茶娘限定のアイドルユニット）
2. 茶っ茶とふけるトイレットペーパー！
3. 島田市ソムリエ協会認定お茶ソムリエ

グループ名：Eら

1. 市民緑茶化ツアー
2. 島田へようこそ！緑茶化ツアー
3. 鉄オタ、くればいいらあ～



ムーランルージュ



Eら

グループ名：チームF

1. 麦茶がライバル（市が Youtube にイケメンがスタイリッシュにお茶を飲むセンスの良い動画を公開）
2. 生産者に愛の手を（一人一人がお茶を飲み消費を増やす、日本一のお茶を作るため生産者育成を）
3. お茶E n j o y !!!（島田に来ればおいしいお茶を飲める、楽しめるイメージを作る。川根温泉に行けばお茶風呂、お茶ワインが楽しめる）

グループ名：茶つきりだら〜ず

1. あそぶっ茶島田（観光・イベント）
2. おいしいっ茶島田（グルメ・名物）
3. 長生きするっ茶島田（健康）



チームF



茶つきりだら〜ず

グループ名：チーム島茶市

1. 島田市島茶市化
2. 島（田）茶祭り
3. ほっとひと駅島田駅



チーム島茶市

(5) 講評（松下啓一氏）

島田市の人口が減少していく中、みんなでまちづくりに取り組んでいかなければならない。提案の中に 60 代以上の茶娘のアイドルユニットというものがあつた。これから高齢者がどんどん増える中で、そういう人たちにも活躍していただくということ。今回のような無作為抽出でやるワークショップにも、もっと申込みがあってもおかしくない。みんなで気運を盛り上げていかなければならない。



10 提案内容の取扱い及び参加者へのアフターフォロー

提案内容は、市役所内で情報共有し、今後の島田市緑茶化計画関連施策や市民と市との協働に関する施策の企画・立案の参考に活用する。

今回の参加者に対し、公募委員候補者の登録制度（市が審議会等の委員や市民参加型のワークショップ等の参加者を公募する際に、登録者へ募集情報を提供する仕組み）への登録を呼びかける。